

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスしろくま		令和7年3月7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		関連法に基づき、整備を行なっています。	個別のスペースを充実できたらと思っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		関連法に基づき、整備を行なっています。	個別対応の必要がある方への支援の際、手が足りなくなる時があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもがみやすい表示をしています。	バリアフリーが必要な利用者は現在いませんが、将来必要になることもあり得るので、整備できればと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除や除菌を行い清潔を維持できるようにしています。	老朽化が進んでいるので、改修等必要な整備を行なっています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		相談室を開放する等、配慮を行なっています。	複数の事業で個別の部屋が必要な際の設備が不足しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		スタッフミーティングで話し合い、振り返りや支援の方針について検討しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表へ記入してもらい、意見を頂戴しています。	費用面等の理由により改善しきれない事があり、心苦しく思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		スタッフミーティングや連絡ツールで意見をいただいています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在までに第三者評価をうけていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		スタッフミーティング内で管理者等が受けた研修の内容を伝達しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		関係法に基づき、作成及び公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		相談支援事業所で作成した計画に基づき、契約時の聞き取りを行い計画を作成しています。更新時はそれまでの活動の記録を参考にして原案を作成し、保護者に確認頂いています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフミーティングで話し合い、振り返りや支援の方針について検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		スタッフミーティングで話し合った内容に基づき計画を作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		契約時に決まった形でのアセスメント表を使用し、状況を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		5領域を意識した計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		スタッフと話し合い、作成しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節の行事を組み入れ、プログラムが固定しないようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動の中の個に注目し、個別にサポートを行う工夫をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	連絡ツールを用いて、情報共有や意見の交換を行なっています。	長期休みは、早い時間から利用する方が多く、支援開始前の打ち合わせができないことがあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		連絡ツールを用いて、情報共有や意見の交換を行なっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		連絡帳や日誌への記入、記入が難しかった際は連絡ツールを用いて、情報共有や意見の交換を行なっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月以内にモニタリングを行い、計画の進捗状況や変更について検討しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		基本活動を組み合わせて活動しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「本人がどうしたいのか」を確認するようにしています。確認した内容について助言を行い、実行できる手助けを行なっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加することが多いですが、より関係の深いスタッフが参加するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所や他事業所並びに学校と、電話や面談等で連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や電話にて連絡調整を行なっています。行事予定については市が発行する「年間行事予定一覧」を参考に時間割等で確認しています。	臨時休校等の連絡を学校から直接いただくことができず、情報収集が難しいことがあります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	相談支援事業所からの基本情報で確認しています。	直接保育所等への連絡は行なっていませんでした。必要に応じて行なっていこうと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度は対象者がいませんでしたが、相談支援事業所や最終学校への情報提供を行いました。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		「きらり」と情報共有を行い、必要なアドバイス等頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	遊びに行った公園にいた子たちと一緒に遊ぶ事があります。	児童館交流は行なっていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		自立支援協議会へ参加できていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時等で保護者とお話しし、共通理解を計っています。	保護者とお会いできない利用者については連絡帳やメールでのやりとりになってしまい、表情をうかがいながらの対話が少ないうえに課題を感じています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		研修の情報提供は行なっていますが、ペアレントトレーニングまで行えていません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行なっています。また、変更があった際に文書等でお伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		普段の様子や保護者からの意見を参考にスタッフミーティングを行い、計画の原案を作成しています。原案を保護者に確認してもらい本計画としています。	こどもの意向について多く取り入れていきたいと思っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		説明をし署名を頂いています。捺印は省略しています。	短時間での説明になっていまいることがあり、課題に感じています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		希望に応じ面談等行なっています。日々の事についてはメールや連絡帳でやり取りすることもあります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年に数回、茶話会を開催し保護者同士の交流の場を設けています。	平日午前中に開催することが多く、就労されている保護者の参加が難しくなっていることが課題です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		直接言われた事や連絡帳及びメールでの苦情について、スタッフ間の連絡ツールを用いて共有し、状況確認や対応策について検討しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムを用いて、日々の活動を発信しています。インスタグラムを見られない方向けに紙媒体の「しろくま通信」を作成しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		支援会議等以外には個人情報を施設から持ち出さないようにし、施設内においても鍵付き書庫へ保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		発語できないまたは苦手な子について、ジェスチャー等により意思疎通を行なっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		利用者の特性を考え、見知らぬ人が参加できる行事とはしていませんが、地域に開かれたという観点に基づいて検討する必要性を感じています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		計画策定し、事業所玄関において誰でも閲覧できる状態になっています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、年2回避難誘導訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に持病について聞き取りを行い、対処法について教示を受けています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	契約時にアレルギーについて聞き取りを行なっています。	医師の指示書が必要は方は現状でいませんが、今後対応したいと思います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修を行なっています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		事業所玄関に閲覧できるようになっていますが、周知不足を感じています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際に必要書類を作成し、スタッフミーティングにて共有を行なっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を開催し、虐待について適切な対応を取れるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に保護者への説明を行っている。やむを得ず拘束を行なった際には記録をとり、適正だったかの検証を行なっている。	